

5月10日は 地質の日

地質の日の由来

5月10日は、明治9年(1876)、ライマンらによって日本で初めて広域的な地質図、200万分の1「日本領夷地質要略之図」が作成された日です。

また、明治11年(1878)のこの日は、地質の調査を扱う組織(内務省地理局地質課)が定められた日でもあります。

地質の日とは

私たちの住んでいる大地は、地層、岩石、土壌などでできています。これらの性質のことを「地質」と呼びます。地質とは、まさに大地の性質=Quality of Earthのことです。

地質はエネルギーやさまざまな素材の基となる鉱産資源、温泉や美しい景観など私たちに豊かな恵みを与えてくれます。また、構造物の建設、地下空間利用や、廃棄物処理などの環境面でも地質は重要な役割を果たします。しかし一方で、地質は、地震、火山噴火、斜面崩壊などによって大きな災害をもたらすこともあります。

このように、「地質」は、人間社会と深く関わっていますが、「地質」の重要性や、地質に携わる人々の活動は、一般には、ほとんど知られていません。

一般の人々が、地質をより身近に感じ、理解できることによって、安全・安心で豊かな暮らしが確保できるとともに、地球や環境を大切にすることにもつながります。

地質の日は、この地質への理解を推進する日として、制定されました。さまざまなイベントや日常の活動を通じて、地質をより身近に感じて下さい。

地質の日は、2007年3月13日に、地質関係の組織・学会が発起人^{*1} となって定められました。今後「地質の日」事業推進委員会^{*2} が「地質の日」を広めていきます。

^{*1} 発起人：日本地質学会、日本応用地質学会、日本情報地質学会、日本古生物学会、資源地質学会、(独)産総研地質調査総合センター、北海道立地質研究所、神奈川県立生命の星・地球博物館、(社)全国地質調査業協会連合会、(NPO)地質情報整備・活用機構(届不同)

^{*2} 事業推進委員会：日本地質学会、日本応用地質学会、日本情報地質学会、日本古生物学会、資源地質学会、日本地質学会、日本第四紀学会、(独)産総研地質調査総合センター、日本科学未来館、北海道立地質研究所、神奈川県立生命の星・地球博物館、(社)全国地質調査業協会連合会、(社)東京地学協会、(NPO)地質情報整備・活用機構、(独)国立科学博物館、全国科学博物館協議会(届不同)(2008年1月現在)

地質の日記念行事

2008年5月には、「地質の日」を記念して全国の博物館等で「地質」に関係した記念行事(一般向けの観察会や展示)を行います。皆様のご参加を期待しております。



地質の日事業推進委員会事務局：独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センター
TEL: 029-861-9122, FAX: 029-861-3672 WEB: <http://www.gsj.jp/geologyday/>
ここに用いた地質図は100万分の1日本地質図集3版と(財)日本水資源総合センターが作成した標高データJTOPO30を使用した作成しました。

地質の日(5月10日)記念

地質標本館の化石が チョコレートになりました



1種入り小箱
(化石解説しおり入り)
箱の大きさ 6 x 5 x 2.7 cm
(内容量 20g)

1種入りは、以下の3種類があります。
 ・三葉虫 (古生代)
 ・アンモナイト (中生代)
 ・巻貝 (新生代)

全国の地質関連の博物館で販売しています

- ・斎藤報恩会自然史博物館 (宮城県)
- ・国立科学博物館 (東京 上野)
- ・日本科学未来館 (東京)
- ・千葉県立中央博物館 (千葉県)
- ・石の博物館 奇石博物館 (静岡県)
- ・竜ヶ洞洞窟資料館 (静岡県)
- ・名古屋市科学館 (愛知県)
- ・博石館 (岐阜県)
- ・きしわだ自然資料館 (大阪府)
- ・琵琶湖博物館 (滋賀県)
- ・ラピス大歩危 (徳島県)
- ・阿蘇火山博物館 (熊本県) [5月10日現在]

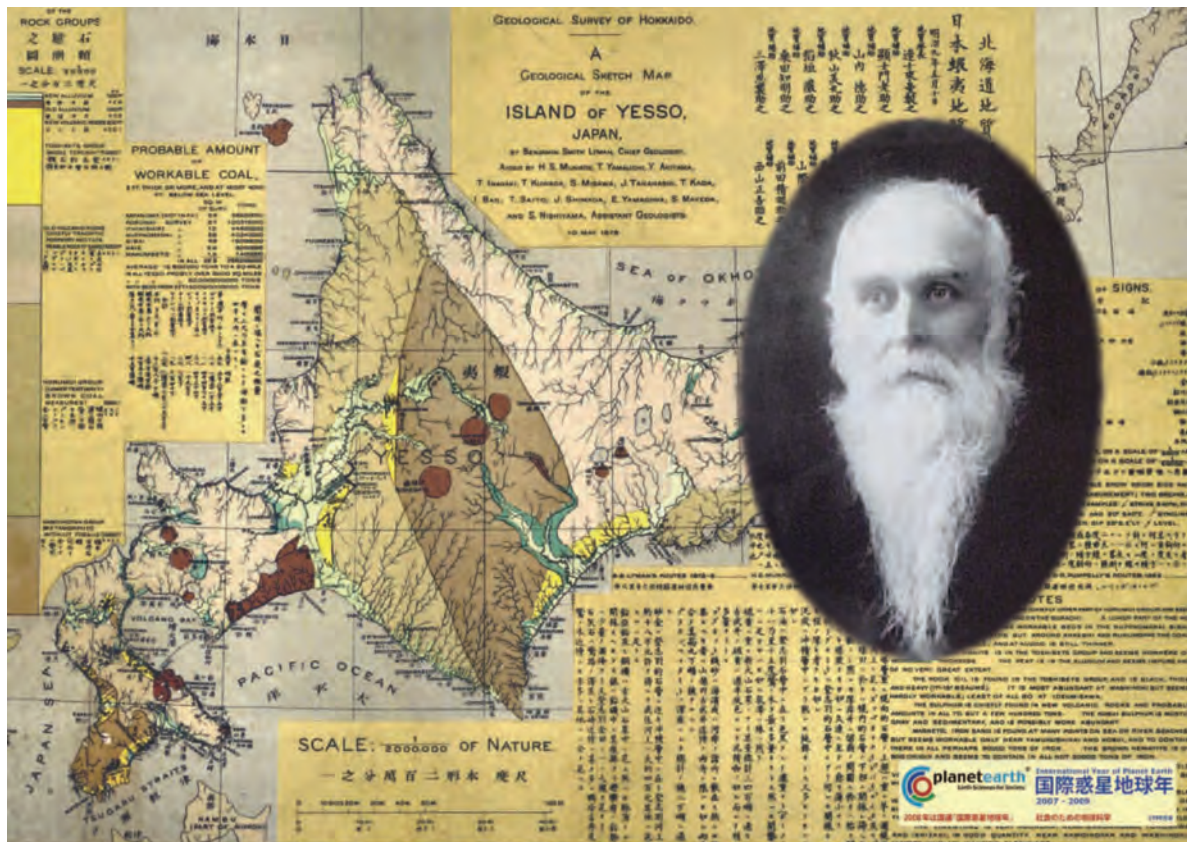
価格
 5種セット 1,890円
 1種入り小箱 各 399円

化石チョコレートに関するホームページ <http://www.geobox.jp/>

この化石チョコレートは、産総研地質調査総合センター(GSJ)の地質情報をもとにして製作されたものです。GSJは化石および地質情報の監修にのみ携わっております。

企画・製作会社および販売につきましては上記URLをご覧ください。

❖❖❖産総研地質標本館では販売しておりません。❖❖❖



「地質の日」記念企画 北海道大学総合博物館企画展示

ライマンと北海道の地質

—北からの日本地質学の夜明け—

期間：2008年4月29日(火)～6月1日(日)

場所：北海道大学総合博物館3階企画展示室

休館日：毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日, 5月7日) 入場無料

開館時間：10:00～16:00(6月1日のみ9:30～16:30)



企画展示関連土曜市民セミナー

- 日時：□5月17日(土) 午後1時30分～：松田義章氏(札幌稲北高等学校)
 「北からの日本地質学の夜明け—ライマンの北海道地質調査とその前後—」
 □5月24日(土) 午後1時30分～：中川 充氏(独)産業技術総合研究所
 「北海道の地質に関する記念物—みんなで決めよう地質百選」
 場所：北大総合博物館1階「知の交流コーナー」 入場無料

共催：日本地質学会北海道支部, 日本応用地質学会北海道支部, 北海道大学総合博物館 / 協賛：北海道地質調査業協会
 協力：北海道立地質研究所, (独)産総研地質調査総合センター, 北海道開拓記念館, 小樽市総合博物館, 北海道大学附属図書館, 北海道大学北方生物園フィールド科学センター-植物園
 連絡先：北海道大学総合博物館 札幌市北区北10条西8丁目 TEL:011-706-2658, FAX:011-706-4029, E-mail:museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

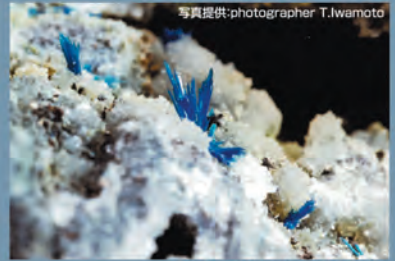
「地質の日/5月10日」制定記念特別展

北海道の地名の付いた石展

2008.5/3(土)→7/31(木)

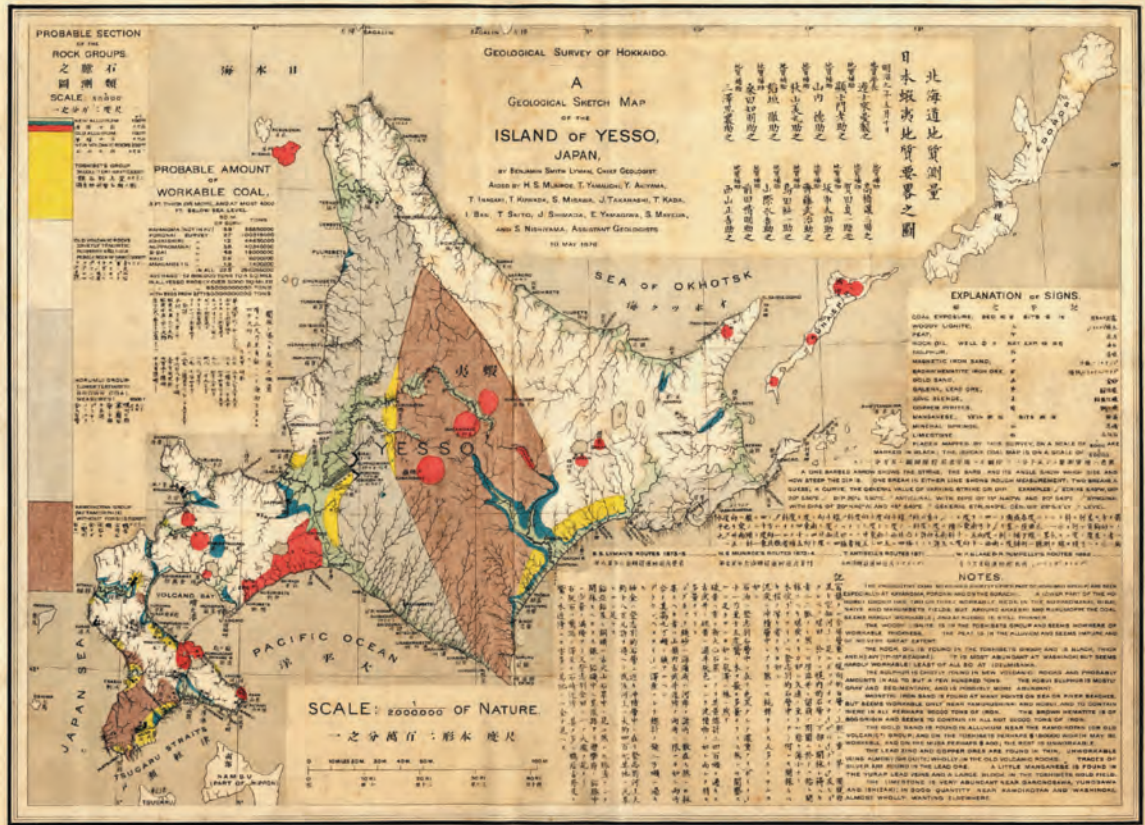
- 開館時間/10:00~17:00 ■休館日/毎週月曜日、連休の振り替え休日
- 博物館駐車場は手ぜまでです。最寄りの交通機関をご利用下さるようお願い致します。
- 交通機関/地下鉄東西線(宮の沢駅、琴似駅、西28丁目)駅前でJRバスに乗り換え
ふもと橋、又は山の手7条7丁目下車、徒歩約3分
- URL/www.yamanote-museum.com

入場料/大人¥200.学生(小・中・高)¥100



写真提供:photographer T.Iwamoto

手稲石/手稲山/所蔵:茨城県自然博物館



地 拓 開

展 示 標 本

轟石 上国石 手稲石 三笠石等



地図と鉱石の
山の手博物館

YAMANOTE MUSEUM 札幌市西区山の手7条8丁目6番1号 山の手ビル TEL (011) 623-3321

協力/北海道立理科教育センター、茨城県立自然博物館、(独)産業技術総合研究所北海道センター・地質標本館

ライマン製作日本蝦夷地質図之原(1876)/提供:地質調査総合センター

